高知県・安徽省
友好提携20周年
記念誌

2005－2014のあゆみ

2014年11月15日　友好提携20周年記念レセプション

高知県・安徽省友好交流委員会

もくじ

はじめに
○高知県・安徽省友好交流委員会　会長　青木　章泰　あいさつ ……1ページ
○高知県知事　尾﨑　正直　お祝いの言葉 ……2ページ
○安徽省省長　李　錦斌　お祝いの言葉 ……3ページ

Ⅰ　安徽省の紹介……4ページ
Ⅱ　友好交流この10年のあゆみ ……8ページ
Ⅲ　友好提携20周年によせて ……18ページ
Ⅳ　高知県と安徽省人民政府との交流･協力を深めるための覚書等 ……22ページ
Ⅴ　付録
①高知県・安徽省友好交流委員会規約 ……25ページ
②高知県・安徽省友好交流委員会役員・幹事名簿……26ページ
③高知県・安徽省友好交流委員会会員の状況……27ページ
④安徽省と交流する県内団体の状況……28ページ
⑤安徽省内自治体と日本の友好都市関係……28ページ

友好提携締結 20 周年を迎えて

高知県・安徽省友好交流委員会　会長　**青木　章泰**

高知県と安徽省との友好提携は、1994 年 11 月 8 日に締結されて以来、交流を続けて 2014 年に 20 周年を迎えました。

当委員会は両県省の友好交流の発展を図ること等を目的として、友好提携締結に先立つ 1994 年 4 月 22 日に設立されましたが、この 20 年間さまざまな形で友好交流のお手伝いをさせていただけましたことを喜ばしく思います。

この 20 年間を振り返りますと、両県省の間では産業・文化・教育・スポーツなどさまざまな分野で行政、民間を問わず交流が行われてきましたが、特に近年は中国が急速な経済発展を遂げられ、多くの中国の方が海外旅行をされるようになりましたので、観光面での交流もクローズアップされてくるようになってきました。今後もより多くの安徽省の方が本県を訪れていただけるよう期待するとともに、当委員会もより多くの県民の皆様に安徽省に興味を持っていただけるよう活動していきます。

一方で、この数年間政治的には日中両国間の関係が必ずしも円滑ではなかったことも事実ですが、こうした状況の中で、高知県と安徽省という地方自治体同士が友好交流を継続してきたことは、大きな意味があったと思います。これからも草の根レベルでの交流を発展させ、両県省の人々がお互いをより理解しあえることを願っています。

当委員会では、2005 年に作成しました 10 周年記念誌に続きまして、この「高知県・安徽省友好提携 20 周年記念誌」を作成しました。この冊子が両県省の友好交流の記録として、県民の皆様にとって今後の友好関係の発展に少しでもお役に立てば幸いです。

友好交流から経済交流へ

高知県知事　尾﨑　正直

高知県と安徽省との友好提携20周年を迎えることができましたことを、大変嬉しく、また喜ばしく思います。

この間の両県省の交流には、様々な進展がありました。15周年の2009年8月には、私も安徽省を訪問させていただき、当時の安徽省長の王三運（おう・さんうん）先生との懇談におきまして、友好交流から経済交流へと交流を拡大することを確認いたしました。

さらに、2012年には、日中国交正常化40周年の節目を記念した日中知事省長フォーラムに参加するために来日された、当時の安徽省長である李斌（り・ひん）女士を高知県にお迎えし「高知県と安徽省との交流・協力を深めるための覚書」締結と教育・観光分野等の５つの覚書も締結し、互いの絆を確認するとともに相互発展を約束しました。

そして一昨年の20周年を記念した訪問団に大学関係者の参加もいただいたことが、大学間の交流の契機となり、昨年９月に、安徽省内の３つの大学の学生が、県内の大学や企業を訪れ、若い世代の技術交流が図られる機会となりました。

今後も、省長の李錦斌（り・きんひん）先生のもと、こうした交流をさらに進めていくことで、両県省のつながりが、日中両国の明るい未来に貢献できるものと考えております。

これまで長年にわたり、当県との交流を支えご尽力いただきました、安徽省友好交流委員会ご関係者とたくさんの安徽省の皆様方に厚くお礼を申し上げ、また、これからも両県省の絆がますます堅く結ばれますことを祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

手を携え、
友好交流の新たな局面を切り拓く

安徽省　省長　李　錦斌

歳月が流れ、春に咲く花が秋に実りを結びます。中国の安徽省と日本の高知県が友好提携を締結して以来、20年の歳月が経ち、日増しに実り多い成果が収められました。

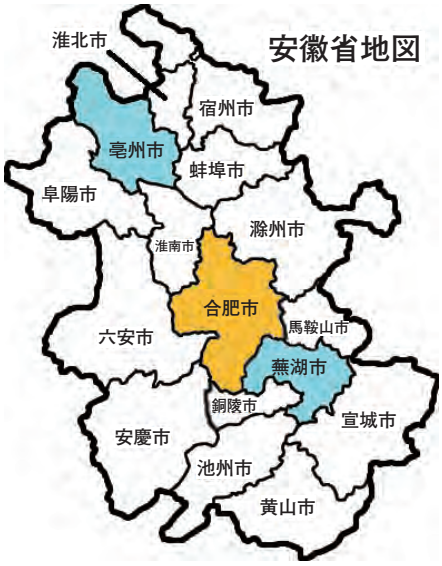
1994年に両省県が友好提携を結んでから、お互いに歩み寄り、トップ層を始め相互訪問が頻繁になり、経済貿易関係も緊密になってきて、科学技術人員の育成や交流の輪も広がりました。林業、文化、教育、環境保護など様々な分野で交流が深まり、協力し合う分野が広がりました。20年の間、両省県がともに友好交流を進め、お互いの友情や信頼の絆がより強固になってきて、市レベルでも2組の姉妹都市が提携され、さまざまな分野で著しい功績となりました。民間交流も盛んになって、両省県の民間団体等の人々により、植樹植林、書道、絵画、詩歌、音楽や舞踊、雑技、パネル展並びに学校設立のための寄付などの分野で、一連の多彩な交流活動を行い、両省県民の相互理解や友情をさらに深めました。

細くゆっくり流れる河水が集まり海になります。20年の交流を通じて、双方の協力関係がより深いレベル、より広い分野へ発展する条件を備えてきました。現在、中国の「第13次5カ年計画」が始まったばかりの段階にあたり、安徽省の経済発展は多くの好機を得て、安徽省－高知県の協力関係の強化により、さらに広がりました。『中華人民共和国安徽省人民政府と日本国高知県との交流・協力を深めるための覚書』を基盤として、双方が各分野、各レベルにおいて着実に協力を深めることを大変期待しております。

日本には「風は吹けども山は動せず」ということわざがあります。我々は貴県とともに、誠意と寛容な態度を持ちながら、両省県の友好関係を推進し、より美しい未来を創り出すために頑張りたく存じます。双方の友好協力が順調に進み、中日両国の人々の友情が末永く続きますように心より願っております。

安徽省の紹介

安徽省外事弁公室



安徽省は清康熙6年（紀元1667年）に設置され、安慶府と徽州府の最初の字を取って安徽と名づけられました。域内に皖山が聳え、春秋時代には古皖国があるから、「皖」が略称となっています。現在の安徽省は16の市、62の県、43の県級区と1,522の郷鎮、街道弁事所などが設置されています。2014年末には全省の人口が6,082.9万人に達しました。

安徽省は長江、淮河の中下流、長江デルタ奥地に位置します。中国大陸の真ん中よりやや東にあり、河に沿って海と繋っています。東に江蘇省、浙江省に接し、西に湖北省、河南省に接します。南は江西省と近接し、北は山東省に寄りかかります。東から西まで幅は450キロメートルで、南から北まで長さは570キロメートルです。面積は13.94万平方キロメートルで、全国の1.45%を占めて、中国の第22位です。安徽省は長江、淮河、新安江三つの流域を跨って、「江淮大地」と呼ばれます。安徽省内には長江のうち約400キロメートル、淮河は約430キロメートル、新安江は242キロメートルが流れています。長江、淮河はこの省を東西に貫いていて、全省を淮北平原、江淮丘陵、皖南山地三つの地理区域に分けています。域内の巣湖は中国の五大淡水湖の一つで、面積が800平方キロメートルです。

商合杭高速鉄道

安徽省の立地は中国交通ネットにおいて「東を受けて西へ展開する」存在です。鉄道の密度も華東地域でトップクラスです。武漢－合肥－南京鉄道旅客線の開通により、合肥から上海や武漢までの所要時間が大幅に短縮され、それぞれ3時間、2時間しかかかりません。京滬高速鉄道により合肥から北京へは4時間まで短縮されました。2014年末までに、全省の高速自動車道は3,752キロメートルが開通され、一級自動車道が2,623キロメートルあります。鉄道の営業距離は3,478.2キロメートルに達します。合寧高速が東端に寧波、上海と繋いで、蕪宣高速が南に杭州と連結し、合安高速が西に武漢とつながり、合徐高速が北へ徐州に続いています。このように、合肥の道路ネットは四方八方に通じています。合肥新橋国際空港も国内の4Eレベル（※ボーイング747型機ク

ラスが運用可能）の中枢幹線の空港となっています。

安徽省は多くの資源に恵まれています。省内から発見された鉱物の種類は 159 種（副次鉱物含む）あり、埋蔵量が判明されたのは 123 種（副次鉱物含む）あります。中でも、石炭、鉄、銅、硫化鉱など鉱物の埋蔵量は中国国内でトップです。観光資源にも恵まれており、中国で観光資源がもっとも多い省の一つです。黄山、西遹と宏村の古村落はユネスコの世界遺産に正式登録されています。

4E レベルの合肥新橋国際空港

黄山、九華山、天柱山、琅琊山、斉雲山、采石磯、巣湖、花山謎窟、太極洞、花亭湖など 10 か所の国家級景勝地があり、歙県、寿県、亳州、安慶、績渓など 5 か所の国家級歴史文化名城を持っていて、6 か所の国家級自然保護区や 29 か所の国家級森林公園、56 の国家指定文化財保護箇所があります。

安徽省は中国先史文明の重要な発祥地の一つです。文化の蓄積が深く、長い歴史があります。道教文化、建安文学、桐城派、北宋理学、徽文化など有名な文化流派が育まれ、老子、荘子、管子、曹操、華佗、包拯、朱元璋、李鴻章、胡適など有名な人物を輩出しました。淮河流域から誕生した老荘道家流派は儒家学説とともに、中国伝統文化の二つの支柱となっています。徽文化は中国の明清時代にもっとも影響力の大きい文化流派でした。徽劇は京劇の主な源流の一つで、黄梅戯は中国四大演劇の一つです。池州傩戯は「芝居の生きている化石」と呼ばれ、淮河を挟んだ両側の地域で流行っている花鼓戯は「東方のバレエ」と讃えられています。

安徽－安慶天柱山

安徽省は中国の重要な農産品生産、エネルギー、原材料及び加工製品の製造基地です。また、自動車、機械、家電、化学工業、電子、農産品加工などの業種も全国で大きなシェアを占めています。豊原グループは中国最大の農産品加工企業です。馬鞍山鋼鉄は中国の大型鉄鋼メーカーです。コンチ（CONCH）グループも全国最大のセメントやプラスチック製品を製造する企業です。チェリー自動車、江淮自動車グループなど中国の自動車ブランドの中核企業の力により、2014 年安徽省の自動車生産量は 95.5 万台に達しました。家電総合生産能力は 7,937.3 万台を超え、中国のトップレベルです。

安徽省には中国科学技術大学、合肥工業大学、解放軍電子工程学院など有名な大学があり、大学はトータル 107 校、2014 年末現在、全省に院生を育成する学校や研究院は 21 か所あり、在籍の院生は 46,590 人、大学（短期大学含む）在籍学生人数は 108.1 万人です。科学研究施設は 3,484 か所あり、その中で大型企業が設立したものが 967 か所あります。研究活動に取り組む人員は 18.1 万人です。安徽省は中国の技術イノベーションプロジェクトを試験的に推進する省で、省庁所在地の合肥市は中国初の科学技術イノベーション試験都市です。2014 年研究と試験発展（R＆D）に用いる経費が 408.7 億元に達し、16.1％増加し、全省ＧＤＰの 1.96％に相当し、前年比で 0.13％アップしました。現在、安徽省内に国家級の科学プロジェクトは５つ、国家級実験室が２つ、国家重点工程の実験室は 19 か所、省

級（重点含み）実験室が 111 か所、部院級実験室が 51 か所あります。省級以上のプロジェクト（技術）研究センターが 554 か所あり、うち国家級が 24 か所あります。ハイテク産業開発区が 16 か所あり、うち国家級が 4 か所あります。ハイテク企業 2,361 か所、2014 年に新しく認定されたのは 671 件です。2014 年、全省範囲で省部級以上の科学成果は 740 件あり、99,160 件の特許申請を受けたうち、48,380 件に対して特許が認定されました。

■ 安徽省 2014 年国民経済及び社会発展データ

全省常住人口 6,082.9 万人（年末）
年間国内総生産（ＧＤＰ）20,848.8 億元
年間食糧作物栽培面積 6,628.9 千ヘクタール
年間食糧生産量　3,415.8 万トン
油料作物生産量 228.8 万トン
肉類生産量 414 万トン
果物生産量 965.3 万トン
鋼材生産量 3,265.7 万トン
セメント生産量 12,913.1 万トン
石炭生産量 12,799.3 万トン
一年間の輸出入総額 492.7 億ドル（輸出 314.9 億ドル、輸入 177.8 億ドル）

■ 安徽省と日本の貿易について

2014 年、安徽省と日本の輸出入貿易額は 29.55 億ドルで、前年比 11.05%増加しました。輸出額は 15.35 億ドルで、22.13%の増加、輸入額は 14.19 億ドルで、1.12%増加しました。

2015 年 1 月から 7 月まで、安徽省と日本の輸出入貿易額は 12.69 億ドルで、前年比 33.14%減少しました。輸出額は 7.91 億ドルで、9.81%の減少、輸入額は 4.78 億ドルで、53.18%減少しました。

主な輸出品：太陽電池、被服、空調機、携帯型電子機器、織物、野菜、鋼材、洗濯機、靴類、スーツケース＆かばん、プラスチック製品、冷蔵庫、変圧器、電線ケーブル、ガラス製品など
主な輸入品：薄型テレビ製造設備、エンジン及び関連パーツ、集積回路、旋盤、計測検査分析機器、プラスチック原材料及び製品、精錬銅陰極、自動車及び部品、紙くず及びボール紙、ゴム、医療機器、鉄鋼くず、化学繊維など

■ 天柱山（てんちゅうさん）世界ジオパークについて

天柱山世界ジオパークは中国の安徽省安慶市潜山県の北緯 30° 35’ 17” ～ 30° 48’ 41”、東経 116° 16’ 04” ～ 116° 33’ 41” に位置します。西北に大別山と繋ぎ、東南は長江と隣接していて、面積は 413.14 平方キロメートルです。主峰の標高は 1,489.8 メートルで、天高く聳え、「一柱擎天（けいてん）」で知られるため、「天柱」と名付けられています。ジオパークは華北プレートと揚子プレートの間の大別造山帯

の東、郯廬断裂帯の複合部位にあります。面積・露出の深さ、露出の状態ともに世界最大規模です。超高圧鉱物と岩石の組み合わせがもっとも豊かな超高圧変成帯で、大陸プレート間の衝突、急降下、折り返しなど雄大な地殻変動の歴史を記録していて、大陸動力学を研究するための代表的で貴重な地形です。郯廬断裂帯にある一番美しい花崗岩地形として名高く、特に崩壊・堆積地形は全国の同一地形の中でも代表的なもので、このような地形は「天柱山型」と呼ばれ、たくましさと美しさを兼ね備えています。ジオパーク中の 20 数か所から 50 種類余りの脊椎動物の化石が発見され、アジア化石の特徴を持ち、新生代初期の哺乳動物の進化を知るのに大変役立ち、「アジア哺乳動物の発祥地の一つ、古脊椎動物化石の聖地」と評価されています。

天柱山は長い歴史を持っており、文化的蓄積が深いです。有名な新石器時代の薛家崗文化遺跡は今から 6,000 年前、古人類がここで暮らしたことや古代文明が分かっています。春秋時代、ここは皖という国の領地で、天柱山がまた皖山と呼ばれており、安徽省の略称「皖」もこのためです。紀元前 106 年、漢の武帝が天柱山を登り、「南岳」に封じました。（後に隋の文帝が湖南省の衡山を新たに「南岳」に封じました）1982 年から、天柱山ジオパークは国家級景勝地、国家森林公園、国家５Ａ級（※最上級）観光地と指定されてきました。2005 年に、国家ジオパークとなり、2011 年に世界ジオパークネットのメンバーとなっています。

2011 年９月 18 日にユネスコの承認を受け、世界ジオパークの一つとして認定された後、世界ジオパークが掲げている「保護、研究と持続発展」という理念のもと、積極的に様々なネット活動に参加し、中国科学院の古脊椎動物や古人類研究所、安徽省地質調査院、南京大学地球科学と工程学院、上海観光専門学校などと連携を取って、地元の科学促進協会、青少年活動センター、小中学校、住宅団地、村などにおいて、科学普及活動を行っています。また、計画的にマネジメント組織を設立し、地質専門人材を集めて総合執行隊を配置し、地質遺跡保護のボランティアを募集するなど一連の活動を通じてジオパークへの保護を強め、PR を拡大しています。さらに ISO14001 環境マネジメント体系を設立・運用しています。これまでに１億元を投入して、地質遺跡保護プロジェクトを２回実施しました。生物多様性を保護するプロジェクトも推進中で、1.5 億元を投入する予定です。ほかに観光道路、科学検証歩道、観光ロープウェーの整備、地質博物館や観光客センターなどのインフラ設備に５億元を投入しました。中国中央テレビで３年連続、ジオパークをＰＲするＣＭを流し、ネット、新聞など様々な媒体を通じて「世界ジオパーク」というブランドの影響力をアップしています。また、地元の伝統文化をさらに掘り下げ、黄梅戯の曲目及び演出の機会を増やし、「黄梅戯の故郷」で観光客を魅了しています。それに伴って、地元の観光業が盛んになり、観光客数も年々増加し、地元の経済発展にも寄与しています。地元の農家は観光に関連して新型の農業やサービス業を始め、ファームスティが 150 軒余り増加しました。特色の農産品もベストセラーの観光商品となっており、天柱山周辺の観光地も 10 か所あります。観光業はすでに地元の主力産業となって、地元の経済や社会の持続可能な発展に大きな力を発揮しており、著しい総合利益が収められています。

友好交流この 10 年のあゆみ

※𪜈は高知市と蕪湖市、𪜈は四万十市と亳州市との友好交流関連

2005 年（平成 17 年）

3月　安徽省日中友好の森づくりネットワーク（21 名）植樹・交流活動（潜山県等３月 20 日～23 日）
幹事会の開催（高知グリーン会館）（３月 29 日）

4月　𪜈 愛知万博参加のための蕪湖市訪問団（２名）の受入

5月　𪜈 友好都市提携 20 周年記念蕪湖市訪問団（団長：潘衛国市長・20 名）の受入
第 11 回日中友好書道交流展（高知市）

6月　総会の開催（高知グリーン会館）（６月 29 日）

7月　自治体職員協力交流研修員（保健衛生１名）の受入
安徽省スポーツ訪問団（少年バレーボール・12 名）の来高

四万十市での友好パネル写真展（７月）

9月　JICA 草の根技術協力研修員（林業２名）の受入

10月　高知県行政訪問団（３名）の訪問
「高知県と安徽省との友好交流推進事務に関する覚書」見直調印
第 11 回日中友好書道交流展（蕪湖市）
𪜈 友好都市提携 20 周年「高知市民親善訪問団」（団長：川田穣一・141 名）派遣

11月　安徽省副省長一行（５名）の来高
𪜈 蕪湖市教育交流訪問団（12 名）の来高
𪜈 高知商業高校が修学旅行で蕪湖市を訪問

12月　連合高知（７名）安徽省総工会を友好訪問（合肥市・黄山市　12 月１日～７日）

合同黄高速

2006 年（平成 18 年）

2月　■ 四万十市友好訪問団（５名）　亳州市を訪問（２月 21 日～ 24 日）

四万十市友好訪問団亳州市を訪問（２月）

■ 友好交流事務協議訪問団（２名）の派遣

3月　合肥植物園の設計コンペティションに審査委員として牧野植物園専門員が出席して技術協力（３月 12 日）

安徽省日中友好の森づくりネットワーク（29 名）植樹・交流活動（黄山市等３月 22 日～ 25 日）

幹事会の開催（高知グリーン会館）（３月 29 日）

4月　安徽省人民代表大会常務委員会代表団（７名）の来高（４月３日～５日）

安徽省農業訪問団（14 名）の来高

安徽省農業訪問団歓迎会（４月）

6月　総会の開催（高知グリーン会館）（６月 29 日）

7月　JICA 草の根技術協力研修員（林業２名・６ヶ月間）の受入

JICA 国際協力機構（保健衛生２名）の受入

8月　高知県スポーツ訪問団（テニス・12 名）の派遣

9月　JICA 草の根技術協力研修専門家（保健衛生３名）の派遣

１１月　安徽省淮南市教育関係訪問団（７名）の来高

安徽省総工会（７名）　来高して連合高知と交流（11 月 30 日～ 12 月７日）

１２月　安徽省体育総会（３名）の来高

2007 年（平成 19 年）

1月　JICA 草の根技術協力事業による保健衛生専門家（３名）の派遣
3月　安徽省日中友好の森づくりネットワーク（22 名）植樹・交流活動（池州市等３月 22 日～25 日）
幹事会の開催（高知グリーン会館）（３月 28 日）
4月　安徽省行政訪問団（団長：常務副省長・５名）の来高
第 12 回日中友好書道交流展（合肥市）
5月　第 12 回日中友好書道交流展（高知市）
安徽省人民代表大会常務委員会代表団（６名）の来高（５月 27 日～ 29 日）
6月　安徽省衛生庁より安徽省円借款来日保健衛生研修団（約 20 名）の来高
総会の開催（高知グリーン会館）（６月 27 日）
7月　JICA 草の根技術協力研修員（保健衛生２名）の受入
8月　円借款事業による安徽省衛生庁の保健医療関係者研修（19 名）の受入
JICA 草の根技術協力研修員（森林土木１名）の受入
10月　亳州市代表団（８名）　四万十市を訪問（10 月９日～ 11 日）
安徽省農業「一村一品」訪問団（６名）の来高
中国国際旅遊商品博覧交易会訪問団（２名）の派遣
友好交流事務協議訪問団（２名）の派遣
11月　高知県行政訪問団（団長：文化環境部長・５名）の派遣
JICA 草の根技術協力事業による保健衛生専門家（２名）の派遣
合肥植物園から牧野植物園に花蓮 20 品種の根茎寄贈（中国花蓮「小夏碗」「蟹爪紅」など 11 月 20 日寄贈依頼、2008 年１月 15 日到着）
蕪湖市教育交流訪問団（12 名）の受入
12月　連合高知（６名）　安徽省総工会を友好訪問（合肥市・黄山市　12 月５日～ 11 日）
安徽省衛生庁より安徽省円借款来日保健衛生研修団（18 名）来日
蕪湖市政治協商会議訪問団（３名）の受入

合肥市での日中友好書道交流展（４月）

合肥植物園訪問（11 月）

2008 年（平成 20 年）

1月　JICA 草の根技術協力研修員（保健衛生２名）の受入
3月　安徽省日中友好の森づくりネットワーク（12 名）植樹・交流活動（寧国市等３月 18 日～21 日）

安徽省日中友好の森づくりネットワーク植樹・交流活動（３月）

幹事会の開催（高知グリーン会館）（３月 28 日）
4月　麗 友好交流事務協議団（２名）の派遣
6月　総会の開催（高知グリーン会館）（６月 26 日）
7月　JICA 草の根技術協力事業による林業専門家（２名）の派遣
10月　JICA 草の根技術協力研修員（林業１名）の受入

林業研修員来高（10 月）

安徽省衛生庁より安徽省円借款来日保健衛生研修団（15 名）の来高
11月　安徽省人民代表大会代表団（６名）の来高（11 月 11 日～ 13 日）
12月　安徽省総工会（６名）来高して連合高知と交流（12 月１日～７日）

2009 年（平成 21 年）

3月　安徽省日中友好の森づくりネットワーク（10 名）植樹・交流活動（黄山市等３月 16 日～19 日）
幹事会の開催（高知共済会館）（３月 30 日）
4月　安徽省衛生庁より安徽省円借款来日保健衛生研修団（18 名）の来高
5月　第 13 回日中友好書道交流展（高知市）
6月　安徽省教育交流訪問団（団長：安徽省教育庁副庁長・６名）の来高

教育交流訪問団歓迎会（６月）

総会の開催（高知会館）（６月 30 日）
8月　高知県・安徽省友好提携 15 周年記念訪問団（団長：知事・27 名）の派遣
亳 四万十市友好訪問団（８名）　亳州市を訪問（８月 18 日～ 23 日）
第 13 回日中友好書道交流展（蕪湖市）
9月　JICA 草の根技術協力事業による林業専門家（２名）の派遣
10月　安徽省林業訪問団（団長：林業庁庁長・５名）の来高
JICA 草の根技術協力研修員（林業１名）の受入
麤 中国国際動画漫画創意産業交易会視察及び友好交流事務協議団（２名）の派遣

友好提携 15 周年記念祝賀会（８月）

2010 年（平成 22 年）

3月　安徽省日中友好の森づくりネットワーク（17 名）植樹・交流活動（黄山市等３月 15 日～18 日）
幹事会の開催（高知会館）（３月 30 日）
4月　安徽高等職業教育交流訪問団（団長：安徽省教育庁副庁長・12 名）の来高
安徽省衛生代表団（団長：安徽省副省長・６名）の来高
5月　蕪湖市政府職員を自治体職員協力交流事業研修員として受入（周鋒、期間：６か月）
6月　総会の開催（高知会館）（６月 24 日）
8月　安徽省人民大会代表団（６名）の来高（８月 25 日～ 27 日）

人民大会代表団来高（８月）

卓球交流訪問団（２名）の派遣
9月　連合高知（７名）　安徽省総工会を友好訪問（合肥市・黄山市）
10月　中国安徽省経済ミッション団（11 名）の派遣
第 14 回日中友好書道交流展（蕪湖市）
友好都市提携 25 周年記念「高知市民親善訪問団」（団長：高野拓男・107 名）の派遣
12月　安徽省総工会（６名）　来高して連合高知と交流（12 月３日～９日）

連合高知安徽省訪問（９月）

2011 年（平成 23 年）

3月　安徽省日中友好の森づくりネットワーク（11 名）植樹・交流活動（黄山市等３月 17 日～20 日）

安徽省日中友好の森づくりネットワーク黄山三中との植樹･交流活動（３月）

幹事会の開催（高知会館）（３月 30 日）

9月　総会の開催（高知会館）（９月６日）

JICA 草の根技術協力事業による林業専門家（２名）の派遣

１０月　亳州市代表団（９名）四万十市を訪問（10 月９日～ 11 日）

友好交流事務協議団（２名）の派遣

１１月　蕪湖市経済交流訪問団（５名）の受入

１２月　JICA 草の根技術協力研修員（林業２名）の受入

安徽省衛生庁より安徽省円借款来日保健衛生研修団（団長：安徽省衛生庁副庁長・21 名）来高

合肥植物園

2012 年（平成 24 年）

3月　幹事会の開催（高知会館）（3月 30 日）

4月　安徽省政府代表団、友好訪問団、農業訪問団、林業訪問団、教育訪問団、観光訪問団、企業代表団、安慶市訪問団（計 49 名）の来高

「日本国高知県と中華人民共和国安徽省人民政府との交流・協力を深めるための覚書」締結

「日本国高知県文化生活部と中華人民共和国安徽省教育庁との交流と協力に関する覚書」締結

「日本国高知県農業振興部と中華人民共和国安徽省農業委員会と農業振興に関する友好交流のための覚書」締結

「日本国高知県林業振興・環境部と中華人民共和国安徽省林業庁との林業の協力及び交流を高めることに関する覚書」締結

李斌安徽省長来高（4月）

林業協議書署名式（4月）

「日本国高知県観光振興部と中華人民共和国安徽省旅遊局との観光振興に関する交流のための覚書」締結

「室戸世界ジオパーク、天柱山世界ジオパークの友好交流提携に向けた事前協議に関する覚書」締結

▪ 蕪湖市代表訪問団（17 名）の受入

5月　安徽省淮南市教育関係訪問団（6名）の来高

連合高知（5名）　安徽省総工会を友好訪問（合肥市・黄山市　5月 18 日～ 24 日）

7月　総会の開催（高知会館）（7月6日）

高知県観光振興部交流訪問団（3名）の派遣

▪ 蕪湖市鳩江区訪問団（6名）の受入

8月　▪ 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会（6名）の派遣

▪ 友好交流事務協議団（2名）の派遣

9月　2012 中国安徽（合肥）農業産業化交易会への参加（4名）

2012 中国国際友好都市大会モデル友好都市表彰式出席（2名）

JICA 草の根技術協力事業による林業専門家（2名）の派遣

2013 年（平成 25 年）

2月　JICA 草の根技術協力研修員（林業２名）の受入
3月　幹事会の開催（高知会館）（３月 29 日）
5月　第１５回日中友好書道交流展（高知市）
7月　総会の開催（高知会館）（７月 16 日）
１０月　JICA 草の根技術協力事業による林業専門家（２名）の派遣

安徽大学からの高知大学短期留学生高知県国際交流協会訪問

１１月　安徽省技術交流訪問団（林業６名）の受入
高知県国際交流課職員及び友好交流委員会事務局職員（４名）が事務レベル協議のため合肥市を訪問（11 月 27 日～ 30 日）

高知県国際交流課職員等安徽中澳科技職業学院訪問（11 月）

2014 年（平成 26 年）

2月	JICA 草の根技術協力研修員（林業２名）の受入
3月	幹事会の開催（高知会館）（3 月 31 日）
5月	麤 友好交流事務協議団（3 名）の派遣
7月	総会の開催（高知会館）（7 月 15 日）
8月	理事会・幹事会合同会議の開催（高知会館）（8 月 14 日）
10月	安徽省外事弁公室友好都市処職員（2 名）の来高
11月	高知県・安徽省友好提携２0 周年記念訪問団（団長：副知事・34 名）の派遣（11 月 14 日～ 17 日）

友好提携 20 周年記念レセプションにて友好交流委員会から
安徽省内友好交流団体に感謝状贈呈（11 月）

友好提携 20 周年記念訪問時に人民対外友好協会から贈呈された布錦絵

友好提携 20 周年によせて

20周年記念訪問団に参加して

高知県議会議員（第 93 代高知県議会議長） **浜田　英宏**

2014 年 11 月　合肥市での 20 周年記念レセプションにて挨拶

中国は日本の 25 倍の国土と 13 倍の人口を抱える大国です。安徽省の面積は中国では 22 位、人口は８位ですが、高知県の 20 倍の面積と 100 倍の人口を抱える「国」と表現しても差し支えはない規模であります。

そんな安徽省と高知県が対等にお付き合いを頂けることは誠に恐れ多く、また大変有難く感じているのです。国家対国家では、過去の歴史認識の相違からぎくしゃくした対応もありますが、そうした中だからこそ、地方レベルの交流は「より平和的でより友好的に」絆を強めなければなりません。

こうした中安徽省と高知県がこの度友好提携 20 周年を記念して交流事業ができましたことは、これ偏（ひとえ）に安徽省外事弁公室の黄玉華元処長先生のこれまでのご尽力もさることながら、なんといっても高知県議会日中友好促進議員連盟の初代会長の鈴木康夫先輩、二代目会長の結城健輔先輩及び現会長の土森正典先輩、そして長く事務局長をお努めいただいた江渕征香先輩、NPO 法人「高知県日中友好協会」の植野克彦副会長及び上田英久理事等々多くの皆様ご尽力の賜であり、あらためて深甚なる感謝と敬意を表する次第であります。

また、安徽省の 16 行政区の一つである蕪湖市と高知市が姉妹都市提携し交流を継続していることも大きな支えであることを忘れてはなりません。

安徽省を訪れる度に高速道路や新幹線の高速交通インフラの整備は目覚ましく発展し、特に合肥市内の高層マンションが林立する様子は数年前と隔世の感があり、夜の街もＬＥＤ照明に光り輝く明るい都市に変貌していました。安徽省政府の表敬訪問やレセプションにおいても、最高の料理と最高の白酎で国賓級のおもてなしを賜り大変感動致しました。

安徽大学と高知工科大学の学術シンポジウムの開会式典において、高知県議会議長として訪問団を代表し、ご挨拶をさせていただいたことも一生の思い出になりました。

唯一心残りは､｢黄山を観ずして安徽を語るなかれ！｣という言葉に代表されるように世界自然文化遺産の｢黄山｣を視察できなかったことがまことに悔まれてなりませんでした。

しかし、このことが次の訪問への意欲に繋がるのであり、次の訪問団は必ず視察すべき日程を確保することを関係者に申し送っておきたいと存じます。

結びに当たり、安徽省と高知県の益々の友好促進を祈念し寄稿といたします。

雪の黄山が印象に〝前人裁樹、後人乗涼〟の言葉をかみしめて

ＮＰＯ高知県日中友好協会会長 **岡林　俊司**

2010 年 10 月　日中友好協会創立 60 周年記念祝賀会にて

2005 年 12 月に安徽省総工会との「相互友好交流協定」に基づく２回目の訪中（12・1 ～ 7）における雪の黄山、屯溪の老街、宏村の風景などが目に浮かびます。また、「合肥経済技術区」の工場群が整備されていたことも記憶に新しいところです。

そして、日中友好協会の訪中団として 2010 年８月の北京「人民大会堂」における「日中友好協会創立 60 周年の集い」も忘れられない出来事です。この年は中国での反日デモが多く、心配していた団員の家族もいましたが、前段の蕪湖市との友好交流も無事に終わったことなど、高知市と蕪湖市との強い絆を感じたものです。

中国との友好関係について、私は元連合高知会長の川田拓助さんの死去（2003 年）に際しての当時の安徽省総工会の張徳芳国際部長の哀悼の言葉 “前人裁樹、後人乗涼”※をかみしめて活動して行きたいと思います。

※先人が樹を植えてくれたおかげで、後の人々が木陰で涼をとることができるという意味

これまでの20年、これからの20年

安徽省外事弁公室友好都市処　処長　崔　葆萍

2014 年 11 月　高知県岩城副知事と安徽省花副省長との懇談

中国の安徽省と日本の高知県が友好提携を結んでから、20 年が経ちました。これまでの 20 年の歳月を振り返ると、両省県は経済貿易、文化などの分野での交流・協力がますます頻繁になってきて、大きな成果が収められたことを認識できて、大変うれしく思います。

特に最近の５年間、行政トップ層をはじめ、絶えず相互訪問をしてきました。概算統計によると、高知県から安徽省を訪問した人数は 136 人、13 回ありました。安徽省から高知県へ派遣した訪問団は６回、74 人いました。ほかに、双方は農業、林業、教育、文化、観光など様々な面での交流を通じて、豊かな成果が収められました。

2014 年 11 月に、高知県副知事岩城孝章様率いる議会、教育、友好交流民間団体関係者ご一行 40 人は安徽省を訪問し、花建慧副省長と面会・懇談しました。訪問団が安徽省に滞在中、中日新エネルギー利用及び持続可能な発展ための創新フォーラム及び両省県友好提携 20 周年記念活動に出席しました。2012 年 4 月に、当時の安徽省省長李斌は大型経済貿易代表団を率いて高知県を訪問し、双方が共催で「友好交流パネル写真展」、「交流プロジェクトの調印式」、「友好交流レセプション」、「友好交流のため特別貢献賞の授賞式」などを企画、実施しました。李斌省長と尾崎正直知事が『日本国高知県と中華人民共和国安徽省人民政府との交流・協力を深めるための覚書』にサインをしました。そのほか、観光振興、林業、農業、教育分野の協議書を交わし、天柱山世界ジオパークと高知県室戸世界ジオパークも友好交流提携に向けた協議書を交わしました。

この 20 年は、安徽省と高知県が困難をともに切り抜け、手を携え、肩を並べてきた 20 年です。両県省はすでに口唇と歯のように互いに頼り合い、兄弟親友のように親密になってきました。われわれが中日両国の世代友好のため、平和や友情の種をまき、安徽省と高知県の発展に力を注ぎました。これからの 20 年、さらに遠い未来にも、安徽省と高知県の友好と信頼の絆がより強固になり、新たな成果がみられると信じております。

高知県安徽省日中友好書道交流展の足跡

高知県日中友好書道協会　代表　大野　祥雲

2014 年 11 月　合肥市での書道交流

高知県日中友好書道協会は、1986 年（昭和 61 年）書道を通じて、日中相互の友好と親善を図り、両国の平和を希求することを目的に発会。その後二年に一回日中双方で友好書展を開催。訪中団を送り、訪日団を迎え友好を深めている。

2005 年（平成 17 年）高知市・蕪湖市友好都市提携 20 周年記念協賛行事として、第 11 回展を高知市と蕪湖市で開催。2007 年（平成 19 年）第 12 回展を合肥と高知市で開催。2009 年（平成 21 年）第 13 回展を高知と合肥で開催。2010 年（平成 22 年）高知市・蕪湖市友好提携 25 周年記念行事の一環として第 14 回展を蕪湖市で開催。高知展は 2011 年４月に開催予定であったが、東日本大震災のため中止の止むなきに至った。2013 年（平成 25 年）５月、第 15 回展を高知市で開催。呉礼寄団長以下７名が訪日。なお中国での開催は中国側の事情により実現しなかった。

2014 年（平成 26 年）高知県・安徽省友好提携 20 周年にあたり、県企画の親善訪中団が結成され、大野祥雲代表、竹森桂翠事務局長の２人が参加。日程の都合、合肥での交流展は出来なかったが、安徽省書法家協会主席・李士杰先生はじめ 13 名の書法家の先生方と友好を深めた。2015 年（平成 27 年）高知市・蕪湖市友好提携 30 周年記念行事の一環として、第 16 回展を高知市と蕪湖市で開催。

こうした二年に一度のささやかな交流書展だが、相互理解には大切なことだと思う。

友好提携 20 周年によせて

安徽省との植物交流

高知県立牧野植物園　園長　水上　元

友好 10 周年にあたる 2004 年に牧野植物園と中国安徽省合肥植物園との間に友好交流提携が結ばれ、それから 11 年の歳月が流れました。締結が結ばれた年には合肥と牧野の互いの園で植樹式が盛大に行われ、合肥ではモクセイ、牧野ではウメが安徽省王金山省長、橋本大二郎知事をはじめとする友好団関係者によって植えられました。

2009 年 6 月　教育交流訪問団ご来園

また、その年に合肥植物園で開催された第二回中国合肥桂花際に当時の小山鐵夫園長が外国来賓として招致を受け、式典の祝辞や学術講演を行い、同行した園芸職員がイベントに合わせた小さな日本庭園を作庭して牧野植物園をパネルで紹介しました。一方、牧野植物園では生薬の故郷である安徽省を紹介する特別展「漢方展」を 10 月に開催しました。また、2006 年には、合肥植物園の園地整備計画（186ha）のマスタープラン作成にあたっての国際コンペティションが開催され、その審査員の一人として牧野植物園から現園芸部長黒岩宣仁が出席しました。その後、高知県の稀少植物の研究に必要な近縁種の標本を安徽省で採集するための許可にご協力していただき、また東洋の園芸植物を集めた 50 周年記念庭園のために 11 種類の中国花蓮を寄贈していただきました。

また、数回にわたって安徽省から訪問団の方々が牧野植物園にご来園いただいておりますが、その都度、10 周年で植樹された梅の前で記念撮影をされています。今後は合肥植物園にある中国の伝統的な園芸植物を当園に導入して高知県民に紹介することや、高知県特産の土佐寒蘭を合肥植物園で展示していただいて安徽省民にご覧いただくなど実りある交流が生まれることを期待しています。

再会を楽しみに

四国労働金庫高知営業本部　本部長（連合高知　前会長）　間嶋　祐一

安徽省総工会と連合高知の友好歴史は、1998 年の総工会の呼びかけから始まった。双方組織論議を重ねるなかで、翌 99 年には連合高知のメンバー 21 名が安徽省を訪れ、「相互の主体性・自主性を尊重し、平等・互恵・相互信頼」を原則とし、「労働組合及び労働者相互の交流等」を骨子とした友好交流協定を交わし、以降隔年で訪日、訪中を繰り返してきた。

2007 年 12 月　安徽省訪問

私もこの間、3 度の安徽省訪問、そして数回の朋友の受け入れを通じ絆を深めてきたところである。

企業訪問・見学、意見交換会はもちろんであるが、「熱烈歓迎」「おもてなし」は、両組織とも得意分野であり、「あっ」と言う間に和やかなムードになるのはいつものことであった。

また、素晴らしい眺めと流れる雲による幻想的な黄山や歴史を感じる老街、そして村落の屯渓（とんけい）等素晴らしい風景と懐かしい思い出がこの執筆をしている際にも昨日のように思い出される。

また、総工会メンバーの訪日の際にも数多くご一緒させて頂き、高知の名所「桂浜」や古都「京都」、港町「神戸」、そして東京の想い出、また、中国語を専攻していた娘もご一緒をさせて頂き、皆さんに可愛がって頂いたこと等が走馬灯のように駆け巡って、また、皆さんにお会いしたい気持ちが募ってくる。

先輩たちがスタートさせて下さった友好の輪、その歴史に自分自身もページを刻んできたことを嬉しく思っている。

「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」

朋友の皆さんありがとう。再会を楽しみにしています。

安徽省とのご縁 ～地下資源開発をベースに～

田中石灰工業株式会社　代表取締役社長　**田中　克也**

弊社は明治 27 年に南国市稲生地区にて創業した石灰製造メーカーです。昭和 30 年代後半より、石灰石とともに高知県に多く賦存する地下資源の蛇紋岩を採掘し約半世紀の間 国内大手製鉄メーカー様に製鉄副原料として供給してまいりました。

出荷管理業務で現地鉱山へ

2011 年、主原料である鉄鉱石の成分変化に伴い、鉄鋼メーカー各社様が蛇紋岩の使用を停止することになりました。弊社におきましても その数年前から蛇紋岩の代替となる地下資源を 日本国内のみならず中国・韓国・台湾等で探索しており、白羽の矢をたてた鉱物が安徽省にあるドロマイト（白雲石）でした。安徽省は石灰石やドロマイトなどの地下資源に富み、従来より中国国内外への供給が盛んに行なわれています。鉱物自体の成分が非常に優れていることや鉱山道・河川積出港などインフラがかなり整備されていることが決め手となりました。

担当者が安徽省に何度も赴き、弊社が高知の蛇紋岩鉱山で培ってきた品質管理手法や運行管理手法など、日本流の出荷方法を数年かけて浸透させ、現地の鉱山会社・港湾仲立業者らと深い信頼関係を築くことができたことで、今や日本国内の鉄鋼メーカーにとってなくてはならない原料供給基地に育っています。

2012 年には安徽省の鉱山会社に出資を行ない 現地とのさらに強固なパートナーシップを築きあげ、得意先である日本の鉄鋼メーカー様に安心していただける原料供給山元として万全の体制を敷いております。

日中友好の森づくりの継続を願う。安徽省日中友好の森づくりネットワーク代表　秦泉寺　昭雄

安徽省での植樹交流活動に、2006 年から参加させていただき、西村さんの後を引き継ぎ代表をさせてもらっています。

黄山市第三中学生との交流

高知県安徽省日中友好提携、15、20 周年の訪問団に参加させていただきました。

私達の団体は、1999 年全椒県大山林場森林公園（高知県森林インストラクター会）の第一回植樹以後私達の団体が引き継ぎ、2002 年から植樹交流活動を続けています。

毎回異なった場所で、中学生を交えて植樹と交流会を続けて来ました。

学生たちの表情、目の輝きを見て、とても楽しく良い気持ちになります。

2011 年は黄山市第三中学生と黄山区で植樹し、植樹の効果・大切さ・木材の利用等々、日本における植樹・間伐等育成の方法を、高知県林業関係及び、情報交流館ネットワーク等々の資料を活用し、植樹の必要性を勉強しました。

淮南第十三中学校の趙雅潔・叶夢栖さんは、来高時我が家で一週間ほど生活し、今も交流が続いています、又 2012 年には、日中友好協会の協力も得て、淮南市教育局の方々を受け入れ交流会を実施、今も手紙等の交流を続けています。

私達の団体が引き継いで以来、2011 年までの 10 年間で、植樹延 60,814 本、参加者延 214 名で交流を続けて来ました。

残念ながら、日中政府間の諸問題で 2015 年も植樹訪中を計画しましたが、実現できませんでした。

今後も、機会をとらえ中国との植樹交流活動を続けて行きたいと思っています、皆様方のご指導、ご協力をお願いします。

高知県と安徽省人民政府との交流・協力を深めるための覚書等

2012年4月安徽省人民政府代表団来高時に締結された覚書

日本国高知県と中華人民共和国安徽省人民政府との交流・協力を深めるための覚書

中華人民共和国安徽省　李斌省長率いる安徽省人民政府代表団は2012年4月19日から20日までの日程で日本国高知県を訪問した。

高知県訪問中、尾﨑正直高知県知事と李斌安徽省長は会談を行い、以下の事項について合意した。

1994年に両県省が友好提携を締結して以来、両県省及び各関係者の努力により、両県省及び民間交流は日増しに密接になり、貿易、科学教育、農林業、文化、スポーツ及び人材育成等の分野で様々な交流や協力を行い、大きな成果を得ることができた。

高知県と安徽省は、それぞれの国において重要な地位を占めている。それぞれの優位性を発揮し、相互に利益を享受する関係を築くことによって、両県省の持続的な発展を推進していくことが、重要であることを確認する。

現在の成果をさらに強固なものとするため、互いの友好互恵の立場から新たな交流のルートを積極的に探り、協力し合う領域を広めて両県省の交流・協力の新たな局面を切り開くため、双方は、以下のとおり交流及び協力を展開することとする。

1　両県省の教育や人材育成の分野での交流を進めるため、高等教育をはじめとする各教育分野で交流を促進する。

2　両県省の農業振興に関する幅広い交流を進め、相互発展の機会を追求するため、両県省の農業担当部門が友好的に協議し、合意が整った具体的な交流については協力して円滑に推進する。

3　両県省の林業発展を促すため、これまでの交流の成果を踏まえ、さらに相互交流を強化するよう努める。双方が友好的に林業技術プロジェクトや技術研修などについて協議し、合意が整った具体的な交流については協力して円滑に推進する。

4　両県省の観光交流の促進を図るため、双方が国際観光の推進や課題を共有するほか相互支援を行う。また、ジオパークの友好交流提携の締結に向けて友好的に協力し、東アジアのジオパーク間のネットワーク発展に向けて協働していく。

5　民間交流を促進し、スポーツ交流や書道などの文化交流、また、日中友好の森づくりが継続されるよう、両県省民の相互理解と友好を更に深める。

6　以上のことについて、実務的で効率的な交流や協力が行えるよう、双方の担当部署が連絡調整を密にするとともに、積極的に協議することにより各協力項目の実現を目指す。

　また、両県省は、様々な分野で協力し、友好関係をより一層強化し、友好的な協力関係を推進する。

この覚書は、双方が署名した日から発効する。この覚書は、日本語及び中国語でそれぞれ作成し、それぞれが同じ効力を持つ。また、双方が日本語と中国語を1冊ずつ保持する。

日本国	中華人民共和国
高知県知事　尾﨑　正直	安徽省人民政府省長　李　斌
2012年4月19日	2012年4月19日

日本国高知県文化生活部と中華人民共和国安徽省教育庁との交流と協力に関する覚書

相互理解の増進と教育面での交流強化を通して、日本国高知県と中華人民共和国安徽省の更なる友好関係を深めることを目的に、高知県文化生活部と安徽省教育庁は、「交流強化、友好協力」の考え方に則り、高等教育をはじめとする各教育分野で相互理解の推進と交流強化に向け連携・協力することについて、以下のとおり合意する。

1　双方は、長期間で広範囲にわたる協力関係を樹立するため、高知県文化生活部文化・国際課と安徽省教育庁外事処を協議機関として、共同で教育交流を推進するための協議を行う。
2　双方の協議機関は、共通する分野の学部がある高知県内の大学と安徽省内の大学間で学術交流や共同研究等を行うための教育交流協定を両県省において締結できるよう努める。また、専門分野の教育研修や教師の相互訪問、実習研修などでも交流できるよう協議する。
3　双方は、両県省の大学間で長期・短期留学等の人的交流を強化するよう努める。
4　双方は、両県省内の相互の大学で、教員、研究員の派遣、専門分野の学生の単位取得、卒業生の編入、大学院での受け入れの可能性について協議する。
5　双方は、両県省の友情を広げ、青少年交流活動を活発化させるための協議を行う。

この覚書は、双方が署名した日から発効する。この覚書は、日本語及び中国語でそれぞれ作成し、それぞれが同じ効力を持つ。また、双方が日本語と中国語を１冊ずつ保持する。

日本国
高知県文化生活部副部長　松岡　さゆり
2012 年 4 月 19 日

中華人民共和国
安徽省教育庁副庁長　高　開華
2012 年 4 月 19 日

日本国高知県観光振興部と中華人民共和国安徽省旅遊局との観光振興に関する交流のための覚書

日中国交正常化 40 周年を迎え、日本国高知県と中華人民共和国安徽省の友好交流を促進するために、高知県観光振興部と安徽省旅遊局が協議を行い、観光分野での交流の推進と地域経済の活性化に向けて連携・協力していくことについて、以下のとおり合意する。

1　高知県観光振興部と安徽省旅遊局は、両県省観光振興について緊密に協力する。
2　室戸世界ジオパークと天柱山世界ジオパークの友好交流提携の締結に向け協力するとともに、東アジアのジオパーク間の連携を深め誘客の促進に向け協働していく。
3　青少年の交流を通じて相手国の文化を理解することは、日中両国の友好交流において重要な意義があることから、双方が教育旅行の受入れを促進するために協力する。
4　両県省の観光情報サイトでの相互リンクを張るとともに、観光情報の相互提供を行うなど、積極的な観光情報の共有と交換を実施する。
5　両県省は、観光訪問団、マスコミ取材団、市民団体などによる、観光交流の拡大を目指す。
　今回の署名で実質的な成果があがるように、高知県観光振興部と安徽省旅遊局は、今後も「連携協力、平等互恵」の原則に基づき、上記の合意内容を実現できるよう努力する。

この覚書は、双方が署名した日から発効する。この覚書は、日本語及び中国語でそれぞれ作成し、それぞれが同じ効力を持つ。また、双方が日本語と中国語を１冊ずつ保持する。

日本国
高知県観光振興部長　久保　博道
2012 年 4 月 19 日

中華人民共和国
安徽省旅遊局長　胡　学凡
2012 年 4 月 19 日

日本国高知県農業振興部と中華人民共和国安徽省農業委員会との農業振興に関する友好交流のための覚書

日本国高知県農業振興部と中華人民共和国安徽省農業委員会は、両県省間の農業振興に関する幅広い交流と協力を促進するため、友好的な協議を通じて、以下のとおり合意する。

1　双方は、互いの農業振興を図るための交流を推進し、相互発展の機会を追求するために、合意が整った具体的な交流について協力し、円滑な推進に努める。
2　双方は、前項の交流を円滑に推進するため、適宜、担当者を派遣し、実現に向けた具体的な意見交換や確認を行う。
3　交流の推進に当たっては、相互対等負担の原則に基づき各自が経費負担する。

この覚書は、双方が署名した日から発効する。この覚書は、日本語及び中国語でそれぞれ作成し、それぞれが同じ効力を持つ。また、双方が日本語と中国語を１冊ずつ保持する。

日本国
高知県農業委振興部副部長　笹岡　貴文
2012 年 4 月 19 日

中華人民共和国
安徽省農業委員会副主任　陳　衛東
2012 年 4 月 19 日

高知県と安徽省人民政府との交流・協力を深めるための覚書等

日本国高知県林業振興・環境部と中華人民共和国安徽省林業庁との林業の協力及び交流を高めることに関する覚書

森林は、地球の気候変化の緩和、環境の回復において重要な位置を占めるため、森林問題については、これからも国際的な協力や交流を行っていかなければならない。

第１回ＡＰＥＣ林業担当閣僚級会談での宣言に基づき、日本国高知県林業振興・環境部と中華人民共和国安徽省林業庁とは、お互いに協力及び交流を深め、林業発展を促すために、以下のとおり合意する。

1　双方は、これまでの林業における協力と交流の成果を踏まえ、これまで以上に相互交流を強化するよう努める。これまで安徽省は、林業技術者や管理員を高知県に派遣して林業技術や管理方法を学んだ。彼らは帰国して自分の仕事に日本で学んだことを活かしている。また、高知県は林業専門家を安徽省に派遣して現場で林業技術を指導している。そして、高知県は、340 名余りのボランティア等により安徽省に赴き、安徽省の 1000 名余りのボランティアと一緒に、安徽省の 14 か所で 82 ヘクタールの「日中友好林」を作った。そして、合肥植物園と牧野植物園は姉妹園として友好関係を結んでいる。これらのことを皮切りに、植物園・森林公園や林業関係団体等のいろいろな分野で友好を深め、協力及び交流を進める。

2　双方は、林道整備、自然公園の整備、水土の保全、生物多様性の保全などのいろいろな分野での協力を深めるための林業技術交流プロジェクトを行う。そのため、双方は毎年、協議して、日本から林業専門家を招請して安徽省の林業現場で指導を受けることや、高知県へ林業技術者、あるいは、管理者を派遣して研修をすることを調整する。なお、適当な時期に、中国側は、研修が終わって帰国した研修員による日本への交流訪問を行うこととする。

3　技術交流の事業経費については、相互対等負担の原則に基づき双方で負担する。

4　双方は、平等互恵の原則に基づいて、協議と対話を通じ、生態系保全や林業における協力と交流を推し進めるよう努める。双方は、産業の発展、生態系保全などの面での協力を強め、経済が発展する方向への転換、気候変動への対応（森林の CO2 吸収源対策）、低炭素社会の発展、環境の回復などの面での検討、協力を深めるよう努力する。

この覚書は、双方が署名した日から発効する。この覚書は、日本語及び中国語でそれぞれ作成し、それぞれが同じ効力を持つ。また、双方が日本語と中国語を１冊ずつ保持する。

日本国
高知県林業振興・環境部長　田村　壮児
2012 年 4 月 19 日

中華人民共和国
安徽省林業庁巡視員　程　鵬
2012 年 4 月 19 日

室戸世界ジオパーク、天柱山世界ジオパークの友好交流提携に向けた事前協議に関する覚書

室戸世界ジオパークと天柱山世界ジオパークは、観光客の拡大や地域経済の発展を目指し、友好交流提携に向けた協議を開始することについて、以下のとおり合意する。

1　双方は、ジオパークをはじめとする地域内の自然・歴史・文化・経済等、様々な分野で緊密な情報交換を行い、相互理解に努める。

2　両ジオパークの管理者の間で友好交流提携に向け、定期的に意見交換できる連絡協議体制を構築し、具体的な提携締結の時期や交流計画等について誠実に協議を行う。

3　双方は、地質研究や教育旅行等で相互交流の促進に向けた検討を行い、積極的に交流の促進に努める。

この覚書は、双方が署名した日から発効する。この覚書は、日本語及び中国語でそれぞれ作成し、それぞれが同じ効力を持つ。また、双方が日本語と中国語を１冊ずつ保持する。

室戸ジオパーク推進協議会
会長　小松　幹侍
2012 年 4 月 19 日

天柱山ジオパーク管理委員会
主任　石　力
2012 年 4 月 19 日

付録 ── 高知県・安徽省友好交流委員会規約

（名称及び事務所の所在地）

第１条　この会は、高知県・安徽省友好交流委員会と称し、事務所を高知市本町４丁目１番 37 号に置く。

（目　　的）

第２条　この会は、高知県と友好省である中華人民共和国安徽省との友好の発展を図り、もって、日本と中国の友好関係を高めることを目的とする。

（事　　業）

第３条　この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

１　友好県省提携の趣旨の普及と相互理解の推進に関すること

２　安徽省の産業、経済、教育文化等について、友好交流を進めるために必要な資料の収集及び調査研究をすること

３　講演会、文化事業等の開催のほか、前条の目的を達成するために必要な事業

（機　　関）

第４条　この会に次の機関を置く。

１　総　会　この会の決議機関であり、会員全員で構成する。

２　理事会　この会の特に重要な会務の審議機関であり、会長、副会長及び関係機関からなる理事で構成する。

３　幹事会　この会の主な友好交流事業に関する業務処理機関であり、関係機関からなる幹事で構成する。

（役　　員）

第５条　この会に次の役員を置き、総会で選出する。

会　長　１　名　　副会長　若干名

理　事　若干名　　監　事　若干名

２　役員の任期は２年とする。但し、再任を妨げない。

３　会長はこの会を代表し、会務を統括する。

４　副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

５　監事はこの会の会計を監査する。

（名誉会長及び顧問）

第６条　この会に役員会の推薦により、名誉会長及び顧問を置くことができる。

（幹事及び事務局長）

第７条　幹事及び事務局長は会長が指名する。

（経　　費）

第８条　この会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

（会　　費）

第９条　会費は、個人会員 2,000 円、団体会員 10,000 円を年額とし、１口以上とする。

（会計年度）

第10条　この会の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月 31 日に終わる。

（規約の改廃と細則）

第11条　この規約の改廃は、総会で行う。

２　この規約に定めるもののほか、この会の運営について必要な事項は会長が定める。

付　　則

この規約は、平成６年４月 22 日から施行する。

付　　則

この規約は、平成８年４月１日から施行する。

付　　則

この規約は、平成９年６月 20 日から施行する。

付録 ── 高知県・安徽省友好交流委員会役員・幹事名簿

役　　員

（平成 27 年 7 月 13 日現在）

	氏　　名	役　　職　　名
名誉会長	尾﨑　正直	高知県知事
会　　長	青木　章泰	四国銀行相談役　高知県国際交流協会代表理事
副 会 長	鈴木　康夫	高知県日中友好協会名誉会長
〃	土森　正典	日中友好促進高知県議会議員連盟会長
〃	横田　健	高知市・蕪湖市友好都市委員会会長
〃	岡﨑　誠也	高知県市長会会長
〃	岩﨑　憲郎	高知県町村会会長
理　　事	森下　勝彦	高知銀行代表取締役頭取
〃	竹内　康雄	高知県経営者協会会長
〃	宮田　速雄	高知新聞社代表取締役社長
〃	脇口　宏	高知大学学長
〃	間嶋　祐一	連合・高知県連合会前会長　四国労働金庫高知営業本部本部長
〃	久岡　隆	高知県農業協同組合中央会会長
〃	戸田　文友	高知県森林組合連合会会長
〃	大野　祥雲	高知県日中友好書道協会代表
〃	岡林　俊司	高知県日中友好協会会長
〃	岡﨑　順子	高知県文化生活部部長
監　　事	早川　紀夫	前高知県中小企業団体中央会会長
〃	岡内　啓明	高知県観光コンベンション協会顧問

幹　　事

（平成 28 年 1 月 1 日現在）

	氏　　名	役　　職　　名
幹　事	坂本　茂雄	日中友好促進高知県議会議員連盟事務局長
〃	植野　克彦	高知県日中友好協会副会長
〃	小松　雄一	日本青年会議所高知ブロック協議会会長
〃	山本　純二郎	高知県農業協同組合中央会参事
〃	遠藤　隆俊	高知大学人文社会科学系長
〃	池澤　研吉	連合・高知県連合会事務局長
〃	穂岐山　駿二	蕪高産業有限公司董事長
〃	葛目　憲昭	高知県体育協会専務理事
〃	松島　健	高知新聞社取締役社長室長
〃	永野　哲也	高知市総務部総務課課長
〃	夕部　茂	高知県文化生活部国際交流課課長
〃	森下　幸彦	高知県国際交流協会事務局長

付録 —— 高知県・安徽省友好交流委員会会員の状況（2015年12月末日現在）

●個人会員数 33 名　　●団体会員数 32 団体

団体会員名簿

1	池内鐵工　株式会社	17	公益社団法人　高知青年会議所
2	高大建設　株式会社	18	株式会社　高知放送
3	株式会社　高知銀行	19	株式会社　四国銀行
4	公益財団法人　高知県観光コンベンション協会	20	ジョウトク建設　株式会社
5	高知県市長会	21	株式会社　太陽
6	高知県商工会議所女性会連合会	22	田中石灰工業　株式会社
7	高知県商工会議所連合会	23	つちばし薬局　株式会社
8	高知県商工会連合会	24	株式会社　テレビ高知
9	高知県森林組合連合会	25	ミタニ建設工業　株式会社
10	高知県中小企業団体中央会	26	林材業労働災害防止協会　高知県支部
11	高知県町村議会議長会	27	連合高知県連合会
12	高知県町村会	28	株式会社　高知新聞社
13	高知県日中友好協会	29	株式会社　高知県観光開発公社
14	高知県日中友好書道協会	30	公益財団法人　高知県体育協会
15	高知県農業協同組合中央会	31	株式会社　三翠園
16	公益財団法人　高知県文化財団	32	高知県軟式野球連盟

入会を希望される方は、高知県・安徽省友好交流委員会事務局（（公財）高知県国際交流協会内）までお問合せください。入会申込書を郵送いたします。

会員の方には機関紙「ニーハオ安徽」を年一回送付するほか、当委員会主催行事等のお知らせをいたします。

連絡先：〒780-0870　高知市本町4- 1-37

電話：088-875-0022　FAX：088-875-4929　Email：info_kia@kochi-kia.or.jp

2014年7月　高知県・安徽省友好交流委員会主催の安徽省留学生等歓迎昼食会

付録 ── 安徽省と交流する県内団体の状況（2015 年 12 月末日現在）

	団体名	項　目	交　流　状　況
県関係	県議会	相互訪問	県議会と省人民代表大会の代表団の相互訪問。
	林業振興・環境部	技術者派遣、受入	2012 年 4 月 19 日に高知県林業振興・環境部と安徽省林業庁の間で「林業の協力及び交流を高めることに関する協議書」を締結。国際協力機構（JICA）の「草の根技術協力事業」により、技術者の派遣、受け入れを実施。
	健康福祉部	研修団受入	安徽省衛生庁から安徽省円借款来日保健衛生研修団を受け入れ
		医師派遣	JICA 家庭保健プロジェクトのチーフアドバイザーとして県職員を北京に派遣（安徽省を含む５省市が対象）
	牧野植物園	植物交流、友好園の提携、特別展の開催	合肥植物園の周園長を招き、友好交流会、周園長による講演会を実施。周園長による牧野植物園の視察、その他県内外の植物園の視察。合肥植物園との友好提携締結（８月）。合肥植物園特別展開催（於：牧野植物園）。
民間交流団体	連合高知	相互訪問	1999 年から、安徽省総工会との間で相互に訪問。
	高知県日中友好書道協会	友好書道展の開催	1986 年から、安徽省法家協会連合会との間で、日中双方での書道交流展を開催。
	安徽省日中友好の森づくりネットワーク	現地での植樹活動	2002 年から、県民ボランティア（公募）による現地植樹活動を実施。
市町村	高知市	交流・派遣事業	1985 年に安徽省蕪湖市と友好提携を締結しての相互交流（2015 年に 30 周年友好訪問団派遣）。
	四万十市	交流・派遣事業	1997 年に旧中村市と安徽省亳州市が友好提携を締結しての相互交流。
教育関係	高知大学	学術交流	2007 年に安徽大学と学術交流協定を締結。2012 年に、朝倉キャンパス内に中国語センター、2013 年に安徽大学内に事務所を設置。
	高知工科大学	学術交流	2012 年に安徽大学と交流協定を締結。2014 年に高知工科大学佐久間学長（当時）らが安徽大学を訪問し、学術シンポジウムを開催。2015 年に安徽大学程学長らが高知工科大学を訪問し、学術交流会を実施。

付録 ── 安徽省内自治体と日本の友好都市関係

都市名	提携先	提携年月日
合　肥　市	久留米市【福岡県】	1980（S55）.5.12
蚌　埠　市	摂津市　【大阪府】	1984（S 59）.5.5
蕪　湖　市	高知市　【高知県】	1985（S 60）.4.19
安　慶　市	茨木市　【大阪府】	1985（S 60）.10.5
馬 鞍 山 市	伊勢崎市【群馬県】	1989（H 1）.11.9
黄　山　市	藤井寺市【大阪府】	1994（H 6）.11.9
亳　州　市	四万十市（旧中村市）【高知県】	1997（H 9）.5.26
〃	京丹後市【京都府】	2006（H 18）.10.6
宣　城　市	四国中央市（旧川之江市）【愛媛県】	2001（H 13）.4.11

県立牧野植物園に展示されている古代の楽器、「編鐘（へんしょう）」

～ 編 集 後 記 ～

2005年の春に10周年記念誌を発行してはや10年あまり、このたび高知県と安徽省の友好提携20周年を記念してこの記念誌を発行する運びとなりました。

本誌は原則として、安徽省との友好提携締結から10年を経過した2005年からの10年間を収録対象としています。編集方針として、これまでの高知県と安徽省との友好交流の歴史を記録として残し、10周年記念誌とあわせて将来の交流に役立てていただきたいという趣旨で作成いたしました。

本誌の編集にあたりましては、これまで両県省間の交流に携わってこられた多くの皆様から写真の提供やご寄稿をいただきました。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

両県省間で友好提携が締結された時に生まれた方ももう成人を迎えられました。これからの両県省の友好交流を支えていただく若い世代の皆様にこれまでの交流の歴史を伝える意味でも、この記念誌がお役に立てれば幸いです。

高知県・安徽省友好交流委員会　事務局

高知県・安徽省友好提携20周年記念誌

2016年3月発行

発　行　高知県・安徽省友好交流委員会
〒780-0870　高知市本町4丁目1番37号
公益財団法人 高知県国際交流協会内
TEL 088-875-0022　FAX 088-875-4929

印刷所　川北印刷株式会社
〒783-0004　南国市大埇甲1725-10